

平成29年度事業報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

特定非営利活動法人こまちぷらす

I 事業の活動方針

法人運営5年目となる平成29年度においては、こまちカフェや情報発信事業の推進に加え、カフェにおけるおしゃべり会等の言語化する場から社会参加の場の設計、その設計をするコーディネーターの育成、他カフェや地域におけるコンサルテーションや横展開、恩送りカードを中心としたファンドレイジングの強化、既存民間サービスや企業への子育て応援するコンテンツの提案等に力をいれた。具体的には、出産前の母親へ子育て情報を伝える産院との連携事業、絵本を通して0歳期の親子の時間を豊かにする図書館との連携事業、学齢期青年期のひきこもりや障がいをもつ子どもと就労を考える他NPOとの連携事業等、既存の制度やサービスの隙間となっていることを拾い、地域の様々な団体と連携して新たな事業を生み出し展開した。尚、車の部品会社との「移動」についての実証実験、大手化学メーカーとの「おむつ外し、断乳、NICU卒、多胎児等」テーマ別の悩みを言語化する場の設計分析、ICT企業と「中高生の悩み」についてインタビュー提案するなど、子育てにおける悩みを子育て当事者と様々な分野の民間事業者と拾い、既存の経済インフラに埋め込む事業を複数実施した。また、子育てが豊かになるためには「まちの担い手」が街なかで育つことが重要と考え、居場所づくりコーディネーターの育成事業に取り組み、千葉県や横浜市内他区へノウハウの横展開を開始した。活気のある空間から子育て中の当事者が気持ちを共有できる仲間を得たり、「できること」や「やりたいこと」が徐々に見つかるような打ち手を打ったりと、場に合わせた展開をし、その分析結果を各地の居場所運営者や中間支援組織へ成果報告会を通して発表した。

<事業内容>

I 子育て情報の提供

1. 地域子育てカレンダー事業

- ・内容：WEB上での地域子育て情報の発信。特に戸塚区内にて紙媒体で発信されているチラシ情報をデータ化して5秒で検索できるように発信。

平成29年度は、更新する情報の量を増やし、こまちパートナーの方とともにに入力作業をする更新方法体制を大幅に変更。ウェブでの更新のみから紙媒体での更新及び配信を追加。配架日の短縮化、地域ごとのばらつきの補正にも取り組んだ。戸塚区地域子育て支援拠点との情報についての相談連絡報告ルートも整え、連携を深め、より早く正確に多くの子育て中の親に地域の子育てイベント情報を届けることに取り組んだ。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区内
- ・従事者人員：5人
- ・受益対象者：区内外の母子を中心に約10,000人程度
- ・支出額：137,156円

地域 こそだてカレンダー						
<p>戸田地区の子育てイベント情報連絡：お住まいの地域の知りたいイベントを投稿してみてください！</p> <p>投稿キーワード：[地域名] [年月] [入力すると当月当月の投稿結果がでてきます]、 [令和] [年] [月] [年] [月] [令和] [年] [月] [令和] [年] [月]</p> <p>お住まいの地域が分からぬ方はこちらからお確かめ下さい。</p>						
<p>★遊び場・しゃべり場・まつとタイム</p> <p>毎日地域の身近な施設である子育て支援会があります。 お立ちちも運んで、おしゃべりしたりできる親子の居場所ですの、 気軽に立ち寄りください。子育ての情報をもらえます。</p> <p>時間：10時～12時（寒暖の△△時～△△時）</p>						
東京都	上矢部	調 場	戸 岡	舞 口	大 正	
北 あざみ・戸岡	北 上矢部	大 佐沢	青 下谷田	青 鹿間御池	北 大庄	
東 戸岡原	北 上矢部	高 橋	木 戸岡原	北 鹿間御池	北 戸岡	東 戸岡
北 伏見			青 戸岡			



2. とつかの子育て応援ルームとことこ 情報スペース運営事業

- ・内容：戸塚区役所3階のとつかの子育て応援ルームとことこにおける情報スペースの運営。

年間 13,973 人（月 1,164 人）の来場、年間 1,393 件（月 116 件）の多種多様な相談があり、丁寧に応えた。子育て中の親子の外出が少しでも楽になるようにと区役所に寄付があったベビーカーを貸し出す業務も行っており、年間 419 件（月 34 件）の利用があった。また、身体重測定へのニーズに応えて始めた体重計の設置においては、9 月から 3 月までの 7 か月で 73 件の利用（月約 10 件）があり、体重増減をはじめとした育児不安を話せるきっかけになっている。

- ・日時：通年
 - ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町 16-17
 - ・従事者人員：4 人
 - ・受益対象者：区内外の母子を中心に約 14,000 人程度
 - ・支出額：1,863,722 円

3. 子育て情報冊子販売

- ・内容：これまでに作成した子育て情報冊子等の冊子を販売
 - ・日時：通年
 - ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
 - ・従事者人員：1人
 - ・受益対象者：区内外の子育て中の親子を中心に50人程度
 - ・支出額：34,340円

II. 子育てをしている人、子ども、地域の人が思いを言語化し、つながりをサポートする場づくり

・内容：こまちカフェの運営。日祝を除く毎日 10 時～17 時まで、毎日たくさんの親子及び様々な世代の方をお迎えしてきた。子育てニーズ調査でも子育て世帯のレスパイト（リフレッシュ、休息）の必要性は課題としてあがっているが、カフェでは、飲食や誰かとのおしゃべりを通して多くの親子がリフレッシュし、子育てと向き合う余裕につながるよう日々工夫を重ねている。平成 29 年度は特に、新たなスタッフを多く迎えワークシェアをしながらの働き方に工夫を重ね、地野菜を地元農家と新たに契約をするなど感動のある食の提供につとめた。カフェの空間でこどもたちの見守りをしてくださっているたくさんの地域のボランティアの方とともに、懇親会を開催し、よりお母さんたちの子育てが豊かになる声かけや空間づくりについての意見交換をした。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：50 人
- ・受益対象者：区内外の母子を中心に 8,700 人
- ・支出額：11,950,878 円



III. 社会から孤立しがちな当事者・支援する人の学びあい事業

1. 発達障がいをもつ子どもの親を対象に情報発信・イベント実施

・内容：こまちカフェにおいて発達障がいをもつ子どもの親が話す場を毎月 1 回提供、専門家や先輩母親からも学んだり互いに情報交換をしたりできる機会をつくっている。児童心理士や地域の専門家を迎えての勉強会が好評で、回によってはキャンセル待ちがでることもあった。また、アズ直子氏を講師に招き講演会を実施し、障がいをもつ子の家族のみならず、地域の方々を合わせて 100 人以上の方にご参加いただくことができた。ポンテという区内のネットワークの会にも月 1 参加し、情報交換を密にしている。

- ・日時：4 月 7 日,5 月 19 日,6 月 2 日,7 月 7 日,8 月 4 日,9 月 8 日,10 月 7 日,12 月 6 日,1 月 13 日,2 月 2 日,3 月 2 日
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：5 人
- ・受益対象者：区内外の母子を中心に 170 人
- ・支出額：266,350 円

2. 多世代カフェ「えんがわ」

- ・内容：企業・地元ラジオ局・キャラバンメイトとともに認知症カフェを実施。認知症カフェを通して多世代が集う仕掛けをつくり、また、子育て中の親やその子どもたちと交わる機会をつくってきた。平成29年度は、前年度に引き続き、認知症サポーター養成講座の実施や「介護や育児を1人で抱えないためにには？」をテーマに参加者同士で語り合う場をつくってきた。ダブルケアを抱えている方にとっては気持ちを吐き出す場になってきており、子育て真っ最中の方たちにもいつかくる介護や街中の身近にいる認知症の方に対して関心を少しづつもってきもらっているが、周知や実際に足を運んでもらうまでのハードルがまだ多くあることが課題である。そのなかで、地域の方のご縁で、初めてパパママ向けの介護施設見学ツアーを実施することができ、関心を寄せていただくことができた。
- ・日時：4月19日,5月24日,6月21日,7月19日,8月2日,9月20日,
10月3日,11月15日,12月13日,3月14日
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：5人
- ・受益対象者：子育て中の親、介護中の方、高齢者、支援者等70人
- ・支出額：19,927円



3. 聞こえないママ×まちプロジェクト

- ・内容：聞こえない母親や聞こえる人が集い仲間づくり、情報交換をし、まちづくりにどのように貢献できるか考える会。構想から2年かけて啓発冊子を作成、地域の支援者や施設、行政関連施設等へ配布を開始した。尚、テレビ局の取材を通して多くの人に課題や実施していることを伝える機会もあった。
- ・日時：4月14日,28日,5月12日,26日,6月9日,23日,7月14日,28日,8月18日,25日,9月1日,22日
10月13日,27日,11月17日,24日,12月8日,15日,1月19日,26日,2月9日,23日,3月9日,23日
- ・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町
- ・従事者人員：2人
- ・受益対象者：聞こえない母親及び一般市民等70人
- ・支出額：90,511円



IV. 社会とつながりたい人が社会で活躍できる場・貢献の場を見出すためのチャレンジ事業

1. 特技を活かし、地域に貢献を考える子育て中の母親に対するサポート事業

・内容：イベントスペース・レンタルキッチン・工房の貸出を通して起業支援や情報発信支援を実施。毎日のようにイベントが実施されているため情報を整理して届ける必要があり、平成29年度はカフェイベントチラシの大幅リニューアルを実施。カフェ全体でのコミュニケーションを心掛けたこともあり、不定期利用から定期利用へと切り替える方や新たに土曜日開催を検討される方等、様々な方がこの場をつかって発信していただけることにもつながった。また、イオン東戸塚店にて毎週金曜日イベントを実施、カフェに足を運んでいない層へのアウトリーチも積極的に実施した。

・日時：通年

・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町

・従事者人員：7名

・受益対象者：起業、教室開催を考えている方及び一般市民等500人

・支出額：2,068,251円



2. 子育て中の母が特技を活かし生きがい及び仲間づくりのために作成した飲食物・手づくり品の販売

・内容：小箱ショップにおけるてづくり品の販売。子育て中の方が自己表現及び社会に関わる場としてだけでなく、未婚・子どもがいない方の来店動機や関わり（作家としての契約）の場にもなっている。フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、ブログ等多様なツールを使い発信を行ったことで、香川からの参加受け入れ開始にもつながる等、これまでリーチできなかった層の来店にもつながった。「SDGs ×ものづくり」をテーマに公開ミーティングも実施し、作家の方やこまちパートナー（ボランティア）の方とともに社会や世界の課題を知ったり、それに対してものづくりを通してできることを考える会を実施した。

・日時：通年

・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町

・従事者人員：2人

・受益対象者：手づくり小物を地域でつくる方及び一般市民等2,500人

・支出額：1,920,608円



V. 地域の多様な主体が互いに連携・協働し、コミュニティの活性化を推進するためのコーディネート事業

1. ウエルカムベビープロジェクト事務局

・内容：ウェルカムベビープロジェクトの事務局を通して「子どもの誕生・子育てを歓迎する文化の醸成」を育む事業を実施。産院とともに、プレママ（マタニティ）の方及びそのご家族向けの講座を実施、34名の参加があった。プレゼントお申込み件数も他施設との連携も経て年後半から月50件ほどのお申込みがくるようになり、昨年度を上回るペースで出産直後の方へ地域の方の気持ちをお届けするだけでなく、情報提供ができるようになった。また、ウェルカムベビープロジェクトの商標も登録することができ、鶴見区への展開の準備も進める等体制強化にも力をいれた。

- ・日時：通年
- ・場所：神奈川県横浜市
- ・従事者人員：4人
- ・受益対象者：戸塚区内にて生まれた赤ちゃんのご家庭の方、企業、一般市民等 2,400 人
- ・支出額：3,760,436 円



2. 地域の居場所づくりと参画のデザイン

・内容：NPO 法人 CR ファクトリー及び日本財団とともに、コーディネーターの育成プログラム及び「おしゃべり会」の企画を通した居場所づくり＆参画のデザインを実施。関心からカフェという居場所に足を運び、徐々に居場所と自分らしい生き方を模索しながら主体性をもっていく打ち手を模索、試行錯誤を経て成果として3月に中間発表をした。「もくもくの会」といったもくもくと作業をする会や「企画の会」といった企画を立案していく連続講座等新たな打ち手を開発。また、パートナーの方が主となり30人程度の実行委員会をつくり、難病をテーマにした上映会を実施。300人を超える地域の方の来場があった。

・日時：通年

・場所：神奈川県横浜市戸塚区戸塚町

・従事者人員：15人

・受益対象者：乳幼児や学齢期の子どもを育てる親、商店、企業、支援者等900人

・支出額：5,458,417円



3. 戸塚宿ほのぼの商和会事務局

・内容：戸塚宿ほのぼの商和会事務局を通して、役員会、他商店会との話し合い、会員への情報発信。家からなかなか出ることができない子育て世帯でも商店での買い物はできているため、商店会活動を通していかに子育て層への理解を広めたり横で連携しながらアウトリーチができるか検討をしてきた。平成29年度は、ホームページを作成し、2月に3件商店主及び店舗の取材をし記事をアップすることで月間2,000人のアクセスがくるまで認知されてきた。

・日時：通年

・場所：神奈川県横浜市戸塚区

・従事者人員：3人

・受益対象者：65人

・支出額：1,063,873円

4. 「おしゃべり会」のデータベース化

- ・内容： 日常的なおしゃべりを通して隠れたニーズを拾い、変容をデータベース化し検証。
- ・日時： 4月 26 日,5月 19 日,6月 23 日,7月 28 日,8月 25 日,9月 29 日,10月 27 日,11月 24 日,12月 11 日,2018年 1月 12 日,1月 24 日,2月 23 日,3月 9 日
- ・場所： 神奈川県横浜市戸塚区
- ・従事者人員： 3人
- ・受益対象者： 74人
- ・支出額： 627,674円



5. 「コミュニティカフェ」の価値の見える化について深堀事業

- ・内容： 横浜コミュニティカフェネットワークとともに、コミュニティカフェの伴走を実施。今年は1カフェの伴走し、また、フォーラムも開催した。
- ・日時： 通年
- ・場所： 神奈川県横浜市
- ・従事者人員： 2人
- ・受益対象者： コミュニティカフェ実践者及び関心がある方等 50人
- ・支出額： 56,684円

VI. 孤立しない社会をつくるためのまちづくり・啓発・提言事業

講演やコラム発信等、起業への働きかけを実施

- ・内容： 講演やワークショップのファシリテーション等を実施。学会や行政関係者、カフェ運営者、市民団体の方向けにこまちぶらすの活動やカフェでの実践、コーディネーター育成等について話し、ビジョンの普及啓発に努めた。
- ・日時： 通年(全 28 件)
- ・場所： 神奈川県
- ・従事者人員： 8人
- ・受益対象者： 起業や社会活動を考えている一般市民等 800人
- ・支出額： 571,619円

